

トルコギキョウの早出し栽培における切り花品質向上のためのしゃ光方法

【要約】 トルコギキョウの早出し栽培では、定植時期が7月下旬～8月下旬の高温期にあるため、苗の活着不良や生育障害が発生する。定植後の施設内気温を低下させるためのしゃ光資材は黒寒冷しゃ（しゃ光率30%）を1枚被覆するのが適当であり、しゃ光期間は定植後1～2週間とする。

園芸研究所・野菜花き部・花き花木研究室					連絡先	092-922-4111	
部会名	園 芸	専 門	栽 培	対 象	花き類	分類	普及

【背景・ねらい】

トルコギキョウの早出し栽培では、定植時期が高温の場合に活着不良や生育阻害が生じやすい。そのため、定植後の地温や気温を下げる処置が必要であり、寒冷しゃ等で被覆を行っているが、冷房育苗苗の定植後の高温による生育阻害を軽減するためのしゃ光方法については充分明らかにされていない。そこで、トルコギキョウの9～11月出し及び12月出し栽培におけるしゃ光資材の種類及びしゃ光期間について明らかにする。

【成果の内容・特徴】

- ①8月中旬の屋外の照度が90,000 lxある場合、施設内に被覆した黒寒冷しゃの下では45,000 lx、黒寒冷しゃ+アルミミラーネット（しゃ光率30、40%）は22,000～21,000 lxを示し、施設内気温は1.4～2.1℃程度低下する（データ略）。
- ②9～11月出し栽培は梅雨明け後の7月下旬～8月上旬に定植を行うが、しゃ光資材は光線透過率の高い黒寒冷しゃ（しゃ光率30%）を1枚被覆すると切花長が長くなり、切り花品質が優れる（表1）。
- ③トルコギキョウの冷房育苗苗を8月下旬の高温期に定植して12月出し栽培を行う場合、黒寒冷しゃで被覆する期間は2週間程度の短期間とする（表2）。

【成果の活用面・留意点】

- ①トルコギキョウの早出し栽培における夏季高温期の活着・生育促進及び切り花品質向上技術として活用する。
- ②寒冷しゃ被覆時に低日照（条件）が続く場合には、資材の開閉を行って充分採光を行う。

[具体的データ]

表1 9～11月出し栽培におけるしゃ光資材と開花日及び切花長 (平成3年)

播種 時期	冷房育苗 期 間	対 照		しゃ光Ⅰ		しゃ光Ⅱ	
		開花日	切花長	開花日	切花長	開花日	切花長
		月 日	cm	月 日	cm	月 日	cm
5 月	無処理	9・18	54	9・19	52	9・22	52
	7週間	9・21	61	9・22	57	9・24	53
15 日	8週間	9・25	66	9・26	64	9・28	63
	9週間	9・28	70	9・29	68	9・30	66
6 月	無処理	10・23	58	10・28	54	10・30	54
	7週間	10・26	59	10・30	60	11・3	57
5 日	8週間	10・29	65	11・3	64	11・5	63
	9週間	11・1	72	11・7	70	11・12	70

注) ①品種「あずまの粧」

②しゃ光資材：対照 (黒寒冷しゃ1枚)、しゃ光Ⅰ (黒寒冷しゃ+アミミテネット30%)  
しゃ光Ⅱ (黒寒冷しゃ+アミミテネット40%)

表2 12月出し栽培におけるしゃ光期間と開花日及び切り花品質 (平成4年)

播種 時期	しゃ光 期 間	平 均	切花長	葉 数	側枝数	花 数	切 花 重 量
		開花日					
		月 日	cm	枚			
7 月	無処理	12・8	63	10	1.5	5.5	31
	1週間	12・10	66	10	2.0	5.8	40
1 日	2週間	12・13	68	12	2.2	7.4	42
	3週間	12・28	66	11	1.6	5.4	38
7 月	無処理	1・30	68	12	2.3	5.8	38
	1週間	2・3	71	11	2.6	6.4	45
20 日	2週間	2・5	74	12	2.9	8.3	47
	3週間	2・9	72	12	2.4	6.0	40

注) ①品種「あずまの粧」

②しゃ光資材：黒色寒冷しゃ1枚被覆 (しゃ光率30%)

③冷房育苗：昼 (25℃) - 夜 (15℃) 8週間

[その他]

研究課題名：高温障害対策技術の開発

予算区分：国庫 (地域重要)

研究期間：平成5年度 (平成3～5年)

研究担当者：小林泰生、谷川孝弘、坂井康弘

発表論文等：平成3～5年度園芸研究所野菜花き部花き花木試験成績書